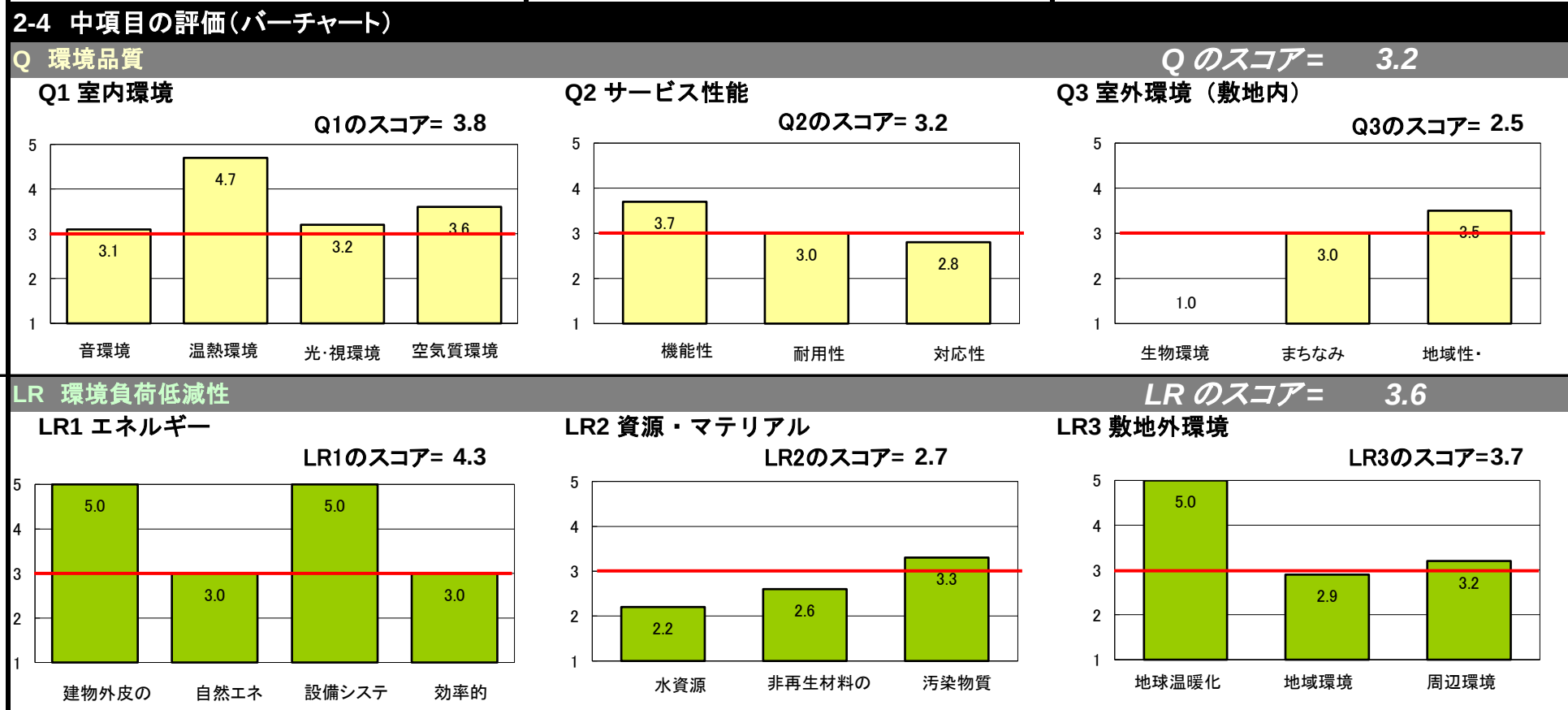
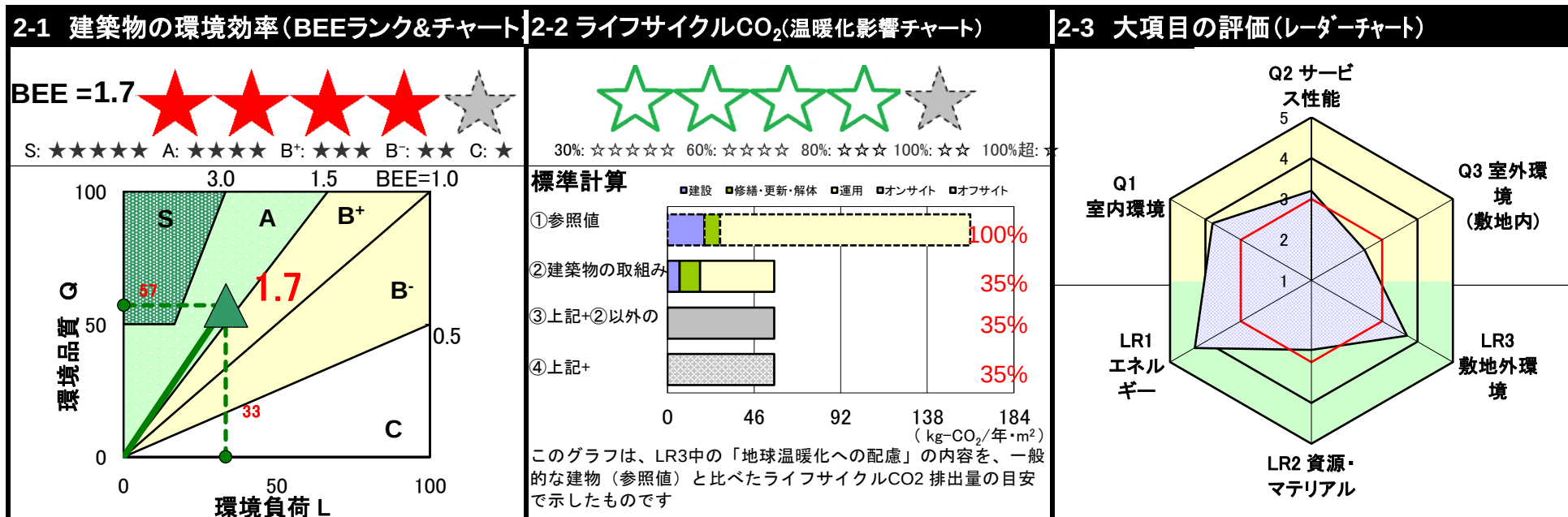


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)一宮市大宮二丁目 計画	階数	地下0階地上15階	
建設地	愛知県一宮市大宮二丁目8番1、8番2の一部	構造	RC造	
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	350 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	0	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工時期	2024年4月 予定	評価の実施日	2022年2月15日	
敷地面積	3,141 m ²	作成者	山口 大輝	
建築面積	625 m ²	確認日	2022年2月18日	
延床面積	6,783 m ²	確認者	竹端 鉄平	



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)
5.0	1.0	26.1 %
		建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)
		0.0 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	<外装材に使用した地域性のある材料>
2.7	1.0	なし
		<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>
		なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



スコアシート		実施設計段階								
配慮項目		独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	住居・宿泊部分	全体
		重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境						0.40			-	3.8
1 音環境				0.1	3.0	0.15	3.1	3.1	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.50		3.0	0.50	
1.2 遮音				0.5	3.0	0.50		3.3	0.50	
1 開口部遮音性能			Dr=50		3.0	1.00		3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				-	3.0	-		4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	-		3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	-		3.0	0.20	
1.3 吸音				-	3.0	-		3.0	-	
2 温熱環境				0.3	2.0	0.35	5.0	5.0	1.00	4.7
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50	5.0	5.0	1.00	
1 室温			等級4を超える	3.0	3.0	0.63		-	-	
2 外皮性能				3.0	3.0	0.38		5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性				3.0	3.0	-		-	-	
2.2 湿度制御				3.0	1.0	0.20		-	-	
2.3 空調方式				3.0	1.0	0.30		-	-	
3 光・視環境				0.2	2.4	0.25	3.3	3.3	1.00	3.2
3.1 屋光利用				0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	0.35	
1 屋光率			2種類を組み合わせで制御	3.0	3.0	0.60		3.0	0.50	
2 方位別開口				-		-		3.0	0.30	
3 屋光利用設備				3.0	3.0	0.40		3.0	0.20	
3.2 グレア対策				0.3	1.0	0.30	4.0	4.0	0.35	
1 屋光制御				5.0	1.0	1.00		4.0	1.00	
3.3 照度				3.0	3.0	0.15		-	-	
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.25		3.0	0.29	
4 空気質環境				0.2	3.6	0.25	3.6	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				0.6	4.0	0.60	4.0	4.0	0.63	
1 化学汚染物質			F☆☆☆☆建材を使用している。	3.0	4.0	1.00		4.0	1.00	
4.2 換気				0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	0.38	
1 換気量				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	3.0	-		3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	3.0	0.50		3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	-		-	-	
2 喫煙の制御				3.0	3.0	-		-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30		-	-	3.2
1 機能性				0.4	3.4	0.40	3.8	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60	
1 広さ・収納性			住戸内までCat5eケーブルを実装	3.0	3.0	-		3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-		5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		独自		3.0	3.0	1.00		-	-	
1.2 心理性・快適性				0.3	4.0	0.30	2.0	2.0	0.40	
1 広さ感・景観 (天井高)			パースによる事前検証を行った。	3.0	3.0	-		3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	3.0	-		-	-	
3 内装計画				3.0	4.0	1.00		1.0	0.50	
1.3 維持管理				0.3	3.5	0.30	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			防汚性や維持管理方法に配慮した計画としている。	3.0	4.0	0.50		-	-	
2 維持管理用機能の確保				-	3.0	0.50		-	-	
2 耐用性・信頼性				0.3	3.0	0.31	-	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			劣化対策等級3	3.0	3.0	0.80		-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20		-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.3	0.33	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				-	5.0	0.23		-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔				-	2.0	0.23		-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				-	3.0	0.09		-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08		-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			1.汚水縦管:FDP、2.雑排水縦管:FDP、3.給水縦管:SUS管	-	5.0	0.15		-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	2.0	0.23		-	-	
2.4 信頼性				0.1	2.6	0.19	-	-	-	
1 空調・換気設備			②	3.0	3.0	0.20		-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	1.0	0.20		-	-	
3 電気設備				3.0	3.0	0.20		-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20		-	-	
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20		-	-	

3 対応性・更新性					0.2	2.8	0.29	2.8	2.8	1.00	2.8	
	3.1 空間のゆとり		②		-	-	-	2.6	2.6	0.50		
	1	階高のゆとり			-	3.0	-		3.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ			3.0	3.0	-		2.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	-		3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性				1.0	2.8	1.00	-	-	-		
	1	空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-		
	2	給排水管の更新性			3.0	2.0	0.17	-	-	-		
	3	電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-		
	4	通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-		
	5	設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-		
	6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	-	2.5		
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	1.0	0.30		-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	3.0	0.40		-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.5	0.30	-	-	-	3.5		
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		-	3.0	0.50		-	-		
	3.2 敷地内温熱環境の向上			緑地を確保	-	4.0	0.50		-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性						-			-	-	3.6	
LR1 エネルギー						-	0.40		-	-	4.3	
1 建物外皮の熱負荷抑制			等級4を超える		3.0	5.0	0.33		-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.17		-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化			BEI=0.72		3.0	5.0	0.33		-	-	5.0	
4 効率的運用					0.1	3.0	0.17	-	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-	-		
	4.1	モニタリング			3.0	3.0	-	-	-	-		
	4.2	運用管理体制			3.0	3.0	-	-	-	-		
	集合住宅の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-		
	4.1	モニタリング			-	3.0	0.50	-	-	-		
	4.2	運用管理体制			-	3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル						-	0.30		-	-	2.7	
1 水資源保護					0.1	2.2	0.15	-	-	-	2.2	
	1.1 節水				3.0	1.0	0.40		-	-		
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-		
	1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	1.00	-	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	2.6	0.63	-	-	-	2.6	
	2.1 材料使用量の削減		② 独自	— —	-	3.0	0.07		-	-		
	2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24		-	-		
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20		-	-		
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	1.0	0.20		-	-		
	2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	3.0	0.05		-	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	3.0	0.24		-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	3.3	0.22	-	-	-	3.3	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32		-	-		
	3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.5	0.68	-	-	-		
	1	消火剤			-	-	-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)			-	4.0	0.50	-	-	-		
	3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境						-	0.30		-	-	3.7	
1 地球温暖化への配慮		①	建設、運用段階におけるCO2排出量を削減している。		-	5.0	0.33		-	-	5.0	
2 地域環境への配慮					0.3	2.9	0.33	-	-	-	2.9	
	2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25		-	-		
	2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50		-	-		
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	2.7	0.25	-	-	-		
	1	雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25		-	-	
	2	汚水処理負荷抑制			独自	-	3.0	0.25		-	-	
	3	交通負荷抑制			独自	-	4.0	0.25		-	-	
	3 周辺環境への配慮				-	1.0	0.25		-	-		
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2	
	1	騒音			0.4	3.0	0.40	-	-	-		
	2	振動			独自	-	3.0	1.00		-	-	
	3	悪臭			独自	-	-	-		-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-		
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70		-	-				
	2	砂塵の抑制	-	3.0	-		-	-				
	3	日照阻害の抑制	-	3.0	0.30		-	-				
	3.3 光害の抑制		0.2	4.4	0.20	-	-	-				
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70		-	-				
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-				

重点項目スコアシート

実施設計段階

(仮称)一宮市大宮二丁目 計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				5.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10	2.7
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.8	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.19	1.0
③ 敷地内の緑化				
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:26.1%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア＝各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア＝重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア＝評価ポイントの合計＋1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)一宮市大宮二丁目 計画

計画上の配慮事項	
総合	有害性が低く、耐用性に優れた建材を用いる計画とし、温熱環境や省エネルギー性に配慮することで、長期的に有効な住環境を得られるよう努めた。
Q1 室内環境	室内環境の向上をめざし、F☆☆☆☆建材を使用した。
Q2 サービス性能	共用部分に、耐用性に配慮した配管仕様、躯体材料を用いる計画とした。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に緑地を配置することで敷地内温熱環境の低減に努めた。
LR1 エネルギー	各住戸が外皮に二方向面するよう計画することで有効な換気・通風を確保した。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を使用して室内環境の向上に努めた。
LR3 敷地外環境	LCCO2の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮した。
その他	特になし